

第2回 六甲山系山田川地域学習ゾーン検討委員会

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年12月14日(金) 14:00～16:00
2. 開催場所：しあわせの村 たんぼぼの家 2階 セミナー室2
3. 出席者：

【委員】

宮田 隆夫	神戸大学名誉教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然(六甲全体)
鷺尾 正則	神戸市立南五葉小学校 校長	自然(郷土)
山口 剛	神戸市立君影小学校 教諭	郷土史
前中 忠博	山田川を美しくする会 代表	地域活動
神野 忠広	六甲砂防事務所事務所長	砂防・防災

【事務局】

六甲砂防事務所	綾木副所長、森東課長
株式会社エイト日本技術開発	田中、吉川、松島、守屋

4. 配付資料

- 議事次第
- 第2回検討委員会資料(資料①～④)
- 参考資料 冊子「みんなで語り、伝えよう! 山田川物語(案)」、散策マップ(表面:案)、サブノート(案)

5. 議 事

1. 開 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ
2. 議事	
(1) 第1回検討委員会議事要旨について	・事務局による説明(資料①)
(2) 本委員会での検討内容・スケジュールについて	・事務局による説明(資料②)
(3) 冊子に関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料③)
意見交換	①不思議編について
	②素晴らしさ編について
	③安全・安心編について
(4) 散策マップ・サブノートに関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料④)
意見交換	散策マップ・サブノートについて
(5) その他、今後の予定について	
5. 閉 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ

<議 事>

●事務所長あいさつ

●資料①～③事務局説明

●冊子「不思議」についての意見と反映事務局説明

●意見交換

(宮田委員長)

- ・「六甲山系」と「帝釈・丹生山系」に分けて、その総称として「六甲山地」という言い方は普通使わない。

(神野委員)

- ・「水系」に対して「山系」というのかもしれないが、一般的には使用しない。

(宮田委員長)

- ・「山系」という言葉は、もっと巨大な山脈を有するアルプスやヒマラヤなどを示す場合に使用する。学校でも「山地」という言葉を使っているはずで、「山系」というと子どもたちは、習っていないのではないか。

(神野委員)

- ・行政的に、「水系」に対して「山系」と言葉があり、専門用語的な言い方である。

(鷲尾委員)

- ・学校では、一般的には、「山地」「山脈」という言い方をしている。

(山口委員)

- ・厳密に六甲山地と帝釈・丹生山地を分けて紹介をしていない。全部を六甲山地としている。

(前中委員)

- ・厳密にはないが、分ける意味で六甲山系と帝釈・丹生山系として使うことはある。

(香西委員)

- ・六甲山自然案内人の会では、共通の認識として、須磨から宝塚までの山地も、丹生山地も含めて六甲山地として認識している。

(神野委員)

- ・「山系」という言葉は使わないほうがよい。特に総称で使うこともないので、説明しやすいのであれば、「六甲山地」「帝釈山地」と分けて使うようにするべきである。

(宮田委員長)

- ・P1-2の航空写真は良いが、もう少し関係する地名などを追加したほうがよい。

(前中委員)

- ・P1-2の航空写真は、「帝釈山方面から」になっているが、鈴蘭台の上空あたりからではないか。

(宮田委員長)

- ・帝釈・丹生山地としているが、二つの山を併記する必要はあるのか。

(鷲尾委員)

- ・学校では、二つの山を合わせて紹介している。
- ・断層がたくさんあることを紹介しているが、断層の写真はないのか。西神の方では、断層がたくさん見られるが、そういった写真はないのか。

(宮田委員長)

- ・山田断層が見られる場所の写真を入れられれば良いと思っているのだが、なかなかその場所が見つからない。
- ・山田川流域というのは、断層に挟まれた地域であり、六甲山の他の流域では見られないものなので、

そういった特色を出せればと思っている。

- ・ P1-16 の図はもっと全体的に谷に沿って断層ができていることが分かるようにして欲しい。

(神野委員)

- ・ P1-16 の図の A－B の線はどこかに載せているのか。

(事務局)

- ・ 載せる予定である。

(宮田委員長)

- ・ A－B の断面を作成する時、難しいのは、花崗岩と流紋岩の境界線を引く時に、山田川流域の新しい堆積物の下で交わっているはずなので、境界が決めにくい。
- ・ 神戸層群が三田まで広がっており、六甲山の隆起と同時期に帝釈・丹生山地も隆起し、その時の削られたマサなどを東から西に川が運んで、東播に扇状地を形成したというストーリーがあり、堆積物を西に運んでいくとう特色がある。

(神野委員)

- ・ P1-11 で、村の名前が書かれているが、位置が分かるような図を追加して欲しい。
- ・ P1-14 で、トンネルを示した図中のトンネルの名称が小さすぎて読みづらい。
- ・ P1-21 で、石造物を紹介しているが、宝篋印塔の話はしているが、五輪塔の話が無いので追加して欲しい。
- ・ P1-25 で、山田川に流れ込む支流の図で、古々山峠の位置を示して欲しい。
- ・ P1-22 の下部文章で、「地震が少ない」といわれていた近畿地方でも、～」という文章で、これは震災前には言われていたということで、実は過去には多くの地震が起こっていた。つまり、人間の記憶が途切れていたということで、そういったニュアンスの内容を追加しておくべきである。

(宮田委員長)

- ・ 山田川は今では志染川となっているが、山田川を使うという定義をどこかで書いておかないといけない。

(神野委員)

- ・ P1-1 で書いてある。

(香西委員)

- ・ P1-26 の山田川の名前の移り変りの図は分かりやすい。

(宮田委員長)

- ・ 志染川というと、淡河川と合流してからのことで、それより上流を合わせて志染川と呼ぶのはおかしいことはおかしいと思う。

(神野委員)

- ・ 昔は、地元の人に聞いた言葉をそのまま書くことがある。例を挙げると、熊野川なども、河川のいうと新宮川となっていた。

(前中委員)

- ・ 語句に関して P1-14 で、「1928 年（昭和 3 年）に三宮と箕谷を結ぶ新神戸トンネル、」とあるが、昭和 63 年の間違いである。
- ・ さらに、P1-19 で、写真の説明で「谷上で見つかった桂花木」とあるが、正しくは「珪化木」である。

(宮田委員長)

- ・ 六甲花こう岩と流紋岩の写真は拡大写真と顕微鏡写真の両方を紹介して欲しい。

(鷲尾委員)

- ・ 珪化木は、年輪が分かるような写真を載せていることが多い。

(宮田委員長)

- ・断面から撮れば多少年輪が分かるような写真にはなると思う。

●冊子「素晴らしさ」についての意見と反映事務局説明

●意見交換

(香西委員)

- ・P2-6で、タニウツギの紹介をしているが、3枚紹介している写真のうち、タニウツギの写真は1枚のみで、残りは、ハコネウツギ、ヤブウツギである。
- ・P2-9で、どんぐりを紹介しているが、どんぐりを見分ける時一番必要なのは、どんぐりの殻斗であり、どんぐりと殻斗をセットにした写真を載せておくべきである。特にクヌギの殻斗は特徴的である。山田の里グリーンクラブが発行している本があるので、そこで紹介しているような様式で紹介すべきである。
- ・P2-10で、アオゲラを紹介しているが、アオゲラの特徴が分かるような写真にして欲しい。

(鷺尾委員)

- ・山田川地域でよく見る鳥には、カワセミやホトトギスがいる。ここで何を取り上げて紹介するかということになる。

(神野委員)

- ・ツバメは季節によって見られるものである。というものの、最近街中では見られなくなった種ではある。

(鷺尾委員)

- ・ヒヨドリやモズなども見られる。
- ・自然に関する話題が増えたことは良いことである。

(宮田委員長)

- ・紹介する種類をもう少し増やしてもよいのではないか。

(事務局)

- ・山田川地域の特徴である棚田などでよく見られる種類で選び直してもよい。

(鷺尾委員)

- ・ホタルは今山田川地域ではどのようにになっているのか。

(前中委員)

- ・昔ほどではないが、今ではどこの川でも見られるようになってきた。花山の下あたりから、支流にかけても見られるようになってきた。谷上でも年に一度鑑賞会をしている。種類は、ゲンジボタルばかりである。

(山口委員)

- ・素晴らしさ編で扱うということもあり、日本古来種のみを取り上げるのか、ブラックバスやブルーギルなどの外来種と同列で扱うのか。

(香西委員)

- ・他流域の冊子では、古来種と外来種を分けて紹介している。

(神野委員)

- ・P2-11で、外来種が生態系を脅かしているといった内容が書かれているので、別扱いにしたほうがよい。

(前中委員)

- ・P2-8で、キノコを紹介しているが、木に生えるキノコばかりである。

(香西委員)

- ・山田の里グリーンクラブでは、キノコ図鑑も発行している。

(神野委員)

- ・P2-14 で、山田川疎水の話が紹介されているが、ルート図が欲しい。
- ・P2-17 で、下のコラムに「野生動物にえさをあげない」と書かれているが“あげない”ではなく、“やらない”が正しい。
- ・P2-20 で炭の話の中に、「白炭」が出てくるが、なにかこだわりがあったのか。単に「炭」でも良いのではないか。また、「一本の木を全部切ってしまうのではなく、必要な枝のみを切り出すので～」と書いてあるが、この表現は違う。木を切った後に、萌芽更新によって木は元に戻るのである。

(山口委員)

- ・P2-20 で「炭焼き実習を～」とあるが、“実習”ではなく“体験”程度でよいのではないか。

(前中委員)

- ・谷上のほうでは、米作りの体験学習を行っている。

(香西委員)

- ・炭でも吸着に優れた炭と燃料に使う炭では違う。

(前中委員)

- ・今炭焼きを行っている場所は山田川地域には無い。淡河の方へ行けば、竹炭を焼いているが、商売になるまでには至らない。
- ・P2-37 の「ふるさと西宮の自然」となっているが、“山田”の間違いではないか。

(神野委員)

- ・P2-25 で山田文楽について紹介しているが、人物に「～さん」が付いていると最近の話であるかのように捉えてしまうので、敬称等の扱いについて考える必要がある。
- ・P2-29 の明要寺の説明で、「神仏分離令により明要寺は廃寺となり、～」とあるが、焼き討ちの後、“再興したが”廃寺となったという内容を追加するべきである。

(前中委員)

- ・P2-23 から農村歌舞伎を紹介しているが、実際農村歌舞伎舞台を使った歌舞伎が行われているので、そういった内容も紹介してはどうか。

●冊子「安全・安心」についての意見と反映事務局説明

●意見交換

(神野委員)

- ・P3-14 の土砂災害の写真があるが、よくわからない。

(前中委員)

- ・この写真は、山の際に県が砂防事業をした箇所である。特に土砂災害の様子の写真ではないので、ここで紹介するにはふさわしくないのかもしれない。

(神野委員)

- ・昔の山田川流路工の写真があれば、提供したい。

(鷲尾委員)

- ・P3-1 の写真がモノクロ写真でわかりづらい。

(事務局)

- ・阪神大水害の写真が2枚紹介できてないので、差し替え等の対応をする。

(宮田委員長)

- ・山地崩壊が起きているのではないか。P3-3 では六甲山地の南側の状況ばかりなので、北側の写真も交えて紹介するべきである。

(神野委員)

- ・大きな災害が起きた街中のほうが写真が多く残っているのではないか。

(前中委員)

- ・写真を探したが、なかなか見つからない。

(山口委員)

- ・P3-7で、集中豪雨などを紹介していて、その通りであると思うのだが、最近では警報装置などが設置されており、子どもたちにはそういった具体的なことを教えている。もっと子どもたちに命を守るためにはどうすればよいのか等を分かりやすく説明するべきである。また、今現在取られている対策なども紹介して欲しい。
- ・P3-8で、「たくさんの方の被災者の方が利用していました。」とあるが、“利用”ではなく“入居”にしたほうが良い。

(神野委員)

- ・山で雨が降った場合、川が増水する危険があるなどの知識を子供たちに紹介することは必要なことだと思う。

(鷺尾委員)

- ・コンセプトなのだが、“川”イコール“怖い”というイメージを持つだけでなく、親水ということは扱わないのか。

(神野委員)

- ・親水を扱わないということはない。住吉川などでは紹介している。山田川には親水に関する話題はないか。

(前中委員)

- ・山田川流域にも、親水公園はあるがマナーが悪いため、閉鎖している。また、学校でも川へ立ち入らないように指導している。

(神野委員)

- ・親水護岸ということが言われ出したのは、平成に入りしばらくしてからであり、山田川流路工の頃は、できるだけ川幅を狭めて開発のしやすい工事がされていた。

(鷺尾委員)

- ・明石川や湊川などには親水公園が整備されている。

(前中委員)

- ・P3-16の写真は災害訓練ではなく、山林火災の訓練の様子である。また、各地区で作成していると思うが、防災マップなどを載せてはどうか。

(宮田委員長)

- ・P3-26で紹介している写真は有馬のもので、山田での写真は無いのか。

(前中委員)

- ・建設事務所などにも問い合わせたが、無いようであった。

(神野委員)

- ・阪神・淡路大震災の時、緊急支援チームが入って写真も撮っている可能性があるのだから、あれば提供する。

●冊子「散策マップ」についての意見と反映事務局説明

●意見交換

(前中委員)

- ・それぞれ見学ポイントを色分けして、印をつけている。

(事務局)

- ・紫が不思議の要素、オレンジが素晴らしさの要素、緑が安全・安心の要素、2つ以上の要素がある場合は、黄色で示している。今は、素晴らしさの要素が偏っていて、本来の趣旨ではバランスよく要素

が振り分けられれば良い。

(前中委員)

- ・字の色が濃いので、ポイントが見えにくい。

(鷺尾委員)

- ・自転車で移動とあるが、自転車を借りられる場所があるのか。

(事務局)

- ・箱木千年家の近くで借りられる。

(宮田委員長)

- ・トイレはまだ示されていないのか。

(事務局)

- ・トイレはまだ示せていない。

(山口委員)

- ・方針磁石ではなく、方位磁針である。

(宮田委員長)

- ・地図上の矢印が分かりづらい。

(前中委員)

- ・森林植物園の回りに外国人墓地や聖徳太子御廟などもある。ポイントとして入れるべきかどうか。

(神野委員)

- ・山田川流域ということで絞るとこのようになったのではないか。

(山口委員)

- ・移動時間の近くに徒歩なら人が歩いているような絵をバスならバスの絵を追加するほうが、分かり易くならないか。

(鷺尾委員)

- ・藍那駅から山田へ抜ける道があるのではないか。

(事務局)

- ・農村歌舞伎舞台ルートに入れるのは可能であるが、実際踏査した結果、道中に学習要素が見当たらない。

(前中委員)

- ・散策マップはサブノートと一緒に使用するのか。

(事務局)

- ・一緒に使うが、散策マップのみでも使用できる。

(宮田委員長)

- ・山田川地域の小学校では遠足などで訪れることはあるのか。

(山口委員)

- ・ほとんど行くことは無いが、箱木千年家は行く学校があるかもしれない。

(前中委員)

- ・森林植物園に行くことはある。また、去年か一昨年くらいまでは、文化、歴史等を巡るということで、6年間かけて各史蹟等の説明を受けながら回っていたが、止めてしまった。
- ・山ルートの丸山えん堤から山田道を通って森林植物園までのルートに130分かかるようになっているが、60分程度ではないか。

●冊子「サブノート」についての意見と反映事務局説明

●意見交換

(前中委員)

- ・P14の神社の線で結ぶ問題は、答えが横に並んでいるのではないか。

(事務局)

- ・順番を変更する。

(神野委員)

- ・P7の農具紹介で、犁とならし鍬の写真が似ている。

(事務局)

- ・再度写真を撮り直し差し替える。

(山口委員)

- ・P12の農村歌舞伎舞台の問題は、多すぎて子どもたちには無理ではないか。特徴的な舞台を代表して載せるなどしたほうが良いのではないか。

(前中委員)

- ・それぞれの特徴が分かる写真にしたほうがよい。

(山口委員)

- ・網羅しすぎるとかえって分かりづらくなるので精査すべきである。

(鷺尾委員)

- ・P18の土石流模型実験の写真をもう少し大きくしたほうが分かり易い。

●今後のスケジュール等事務局説明

(山口委員)

- ・サブノートについて、答えは付くのか。

(事務局)

- ・答えは付けないので、冊子を確認するようになる。

(山口委員)

- ・関連ページや、ヒントなどを追加すると分かり易くなる。

(鷺尾委員)

- ・表紙に学校名を記入する欄を設けて欲しい。

●閉会挨拶

(神野委員)

- ・今回の意見をもとに事務局のほうで作業に入り、来年早々に原案を示したいと思っているので、協力をお願いしたい。